
音声入力

VISIA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

音声入力

【Nコード】

N7011U

【作者名】

VISIA

【あらすじ】

携帯電話をかえて、新しい機能を試しています。

(前書き)

美人も不美人も、髪型と化粧と服装と性格と周りの明るさ次第だと思いたい。

最近、音声入力で文章が綴れるというので、色々と携帯電話をいじっていた。

——少し、お酒を飲み過ぎていた。

試しに、

「わー」

と、声に出して言うと、

「うわああ」

と、入力された。

少し考えて、

「わたしは、びじんです。」

と、少し照れながら声に出した。

すると、

「はあ？ b e D E T H .」

と、画面に出て悲しくなった。

私の発音が悪いのか？と思いながら、テレビをつけて歌番組にチャンネルを合わせる。

そして、入力待ちにさせて携帯電話をテレビに近付けた。

——私の好きな歌手が、丁度サビを歌う所だった。

《あなたがーすきだけどーこわくてーこくはくできないーどーすればいいのーおおジーザス

》

携帯電話の画面に” 検索中 ” の文字が暫く点滅したあと、検索結果がでた。

どうやら、単語を探そうとするタイミングで、どの言葉を拾うかがポイントのようだった。

—— 検索結果

自殺

気分を変えて、押し入れの中から昔もらった18禁ビデオを出してきて再生し、音声入力させてみたが、女性の声を検索対象として認識しなかった。

一度だけ”サーバエラー”が出た。

その後も色々試していたが、ちびちび呑んでいた酒がまわりはじめ、携帯電話を放り出していつの間にか眠ってしまっていた。

——朝になって、

携帯電話の画面を見ると、寝ている間に言ったと思われる言葉の検索結果が出ていた。

——検索結果

DETH

自殺

ブス

次の瞬間、携帯電話の画面にヒビが入った。

（後書き）

携帯電話を、耐久力のある頑丈なものにかえると限度を越えたバ
イブで応戦され、バイブをOFFにすると、画面が激しい原色にな
り抵抗された。

——相性って大切だね。

また携帯電話をかえた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7011u/>

音声入力

2011年10月6日18時02分発行